

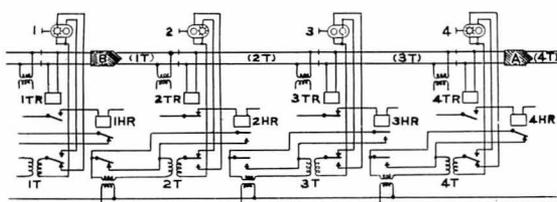
測定して、常に安全な状態に保っている。(江口鉦三郎)

せつがんにやく 接岸荷役 岸壁に直接船舶を繫留(けいりゅう)して荷役すること。船舶で輸送される貨物は積換えその他の費用を軽減し、輸送の迅速をはかるため、船舶を直接岸壁に繫留して荷役するのが望ましいが、船舶の大きさに比較して水深が足りなかったり、護岸設備ができていなかったりする場合には、船舶を沖に停泊させて、はしけに積換えて輸送する。この場合には沖荷役賃を要し、費用がかさむと同時に、荷役時間も長引くので非常に不経済である。(近藤正弘)

せっきんてんとうしんごうほうしき 接近点灯信号方式

(英 approach lighting system 列車回数が増加し、単線ではまかないきれず、複線から4線6線と線増された場合、同方向に運転する線路が2線、3線と並行する。同方向の信号機を同一地点にならべて建てれば、乗務員は自己の運転している線路の所属信号機の選別は困難ではないが、信号機を建植する場合は、その線路を運転する列車の速度および運転時隔に相当するように建てるのが経済的であるから、その位置は必ずしも一致しない。このような箇所では各線路の信号機が一望のうちにあり、所要信号機を確認するのははなはだ困難である。とくに曲線路や乗越線の場合にははなはだしい。列車乗務員が信号の確認ができないようでは困るので、確認を容易にし、精神的負担を軽くするため、(常置信号機は常時停止、注意あるいは進行のいずれかの信号現示をするのが建前であるが)このような箇所の信号機は常時全部の信号機の信号灯を消灯し、列車がある地点に近づいたとき、初めてその列車の運転している線路の信号機が順次点灯される方式である。列車が軌道回路に進入し、その前方の信号機を点灯する場合の各機器の動作は図のとおりである。

接近点灯信号方式



1 B列車が1Tの軌道回路に進入すると軌道継電器1TRに電流が流れなくなるから、接点は落下し1HR継電器も無電流となりその接点も落下する。1HRの落下接点を通じて、信号灯変圧器2Tが励磁され、2Tの軌道回路に列車が存在しないから、信号機2は進行信号現示となる。2Tに列車があれば2TRの接点が落下しているから停止信号現示となる。

2 信号機3は2Tおよび3Tに列車が存在しないから2HR, 3HR継電器は動作し、その接点は向上されているから、信号灯回路を構成せず、信号機3は消灯されている。

3 信号機4は、A列車が4Tにあるため、4TRおよび4HRには電流が流れず、接点はいずれも落下している。したがって信号灯変圧器4Tは、4HRの落下接点を通じて励磁され、信号機4は4TRの落下接点を通じて停止信号を現示している。

このようにして列車が軌道回路に入ると、その前方の信号機を点灯する。

また場合により、信号灯電源の消費を少なくするため、列車回数の少ないところでは、単線区間でもこの方式を採用することがある。

いずれにしても出発信号機や場内信号機は、接近点灯方式と

しないのが普通である。

このほか落石警報機やなだれ警報機にも接近点灯式が用いられる。これは直流軌道回路を用い警報機を常時点灯しておく、電池の消耗がはなはだしく、取替回数も多くなるため、列車がその軌道回路内にある間だけ警報機が点灯するようにして、電池の寿命を延ばすものである。→なだれ警報装置。(西沢 毅)

せつぐう 接遇 (英) hospitality reception 観光事業上の用語としては接遇という言葉は、来訪する旅行者を迎えて、これを親切にねぎらいもてなすというほどの意味で使用される。

一般に観光事業はこれを分析してみると、つぎのような5つの要素から成り立つものと考えられる。

- 1 観光客
- 2 観光の対象とするに足る観光資源
- 3 観光客の利用に供し得る観光施設
- 4 観光客の誘致を目的とする観光宣伝
- 5 人の精神および行動としての接遇

そして観光事業はサービス事業であり、サービスの輸出であるなどしばしばいわれるように、人の精神と行動の占める分野がひろく、その比重が重いことを大きな特色とする。

観光客や旅行者を迎えて、これに接する人はこれを不特定の人(国民一般またはある地方の住民全体)と、特定の人(いわゆる観光従事員あるいは接遇従事員など)とに分けて考えることができよう。

不特定の人について接遇という問題を考えてみると、それは国民あるいは住民一般の旅行者を迎える温い心と、親切な態度や行いである。そしてこれはそれらの人たちの倫理感や道徳感とも深い関連があり、またもちろんそれらの人たちの観光事業に対する深い認識から出発するものである。簡単にいうならば接遇ということは、それらの人たちの教養の、1つの尺度とも見ることができよう。

特定の人すなわちガイド・旅行あっ旋業者・ホテル・旅館・飲食店等の従事員・交通機関従事員・土産品店員等々のような観光あるいは接遇従事員について接遇という問題を考えてみると、旅行者を迎える暖い心と親切な態度や行動は、この人たちの精神のすべてであり、また仕事そのものでさえある。これらの人たちにとっては精神および行動としての接遇ということとは、単に倫理や道徳や教養の問題ではなくて、実に職務上の当然の義務として要請されるものである。(北田勝助)

せっけいいうかがい 設計何 鉄道管理局長・工務局長および工事事務所長はおの事務処理規程により、指定工事中軌条更換工事および1件の予算総額3千万円以内の工事については専決施行できるが、3千万円をこえる工事は、設計について総裁の決裁を経ないと施行できない。したがって局所長が3千万円をこえる工事を施行するときに、その工事の設計について総裁の決裁を得るため、所定の様式により、図面・予算書・その他必要な調書および調表類を添付して、その工事の設計を総裁に伺うこと。(小林 肇)

せっけいきょうぎ 設計協議 事業経営者は事業の経営上いろいろな施設を必要とする。その施設物入手するためには既設のものを買いとる方法、借入れる方法もあるが、資金が許すならば事業主としては、その事業経営にもっとも適合するよう設計に工夫をこらして、必要な施設物を新規に建設することが最良の方法である。この新規建設の場合において、この建設によって他の事業経営者の管理に属する固定財産に何らかの影響をおよぼし、またはおよぼす恐れがあるときは、他の事業経営者に協議してその同意を得なければ工事を施行することができ